

入 試 年度	2026 年度	入 試 時 期	Ⅱ 期 入 学 試 験	実 施 日	2026 年 2 月 24 日	
課 程	博士前期課程	研 究 科	文学研究科	専 攻 ・ コ ー ス	日本文学専攻	
入 試 方式	外国人留学生入学試験		試 験 科 目	日本語		
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」						
【出題の意図】						
日本文学専攻で特に必要とされる日本語運用能力について、日本語に関する知識・教養、日本語による論理的かつ平明な説明能力、さらには文学史や文学的表現の読解力を確認する。						
問題						
出題の都合上、本文では著者名を省いたが、石川啄木「歌のいろいろ」に材を採り、啄木のある日の生活における感想を読解する問題とした。						
問一 「眼を置時計の針に遊ばせていた」とはどういう意味か、説明せよ。						
【解答例（採点時の観点）】						
「眼を遊ばせていた」という文学的な表現を、現実の出来事として、わかりやすく説明できているか、また、どうして「遊ばせる」という言いかたが選ばれているのかが述べられているかを採点時の観点とした。						
問二 空欄 <table border="1"><tr><td>I</td></tr></table> に、もっともよく当てはまる語を、次の中から選び、記号で答えよ。						I
I						
【解答例（採点時の観点）】						
前後の文脈から、遠慮せず積極的に、という意味である「どんどん」が選べるかを採点時の観点とした。						
問三 「歌というものは滅びない」とは、文章中にある、どのような考えかたに対する反論となっているか、説明せよ。						
【解答例（採点時の観点）】						
出題箇所の前の部分にある考えかたを整理して、形式の面と内容の面から、どのようなことで、歌が滅びると考えられたのかが、明示的に述べられているかを採点時の観点とした。						
問四 「いたましき二重の生活」とはどういうことを指しているか、説明せよ。						

【解答例（採点時の観点）】

前の文脈から、どうしてもいいことは意のままになるが、真に変えたいことを変える力はないという無力さを、「いたましき」と呼んでいるのだということが分かっているか、また、それを日本語としての的確に説明できているかを採点時の観点とした。

問五 「知識売買制度の犠牲」とは、具体的にはどのようなことを言おうとしているのか、自由に考えて述べよ。

【解答例（採点時の観点）】

「知識売買制度」という言いかたから、自由に思いつくことについて述べればよいのであるが、知識というものを売って生活しなければならない「いたましき」について、それを日本語としての的確に説明できているかを採点時の観点とした。

問六 この文章の著者は誰か。次の中から選び、記号で答えよ。

【解答例（採点時の観点）】

本文末の、歌が「悲しい玩具」であるという言いかたから、文学史的に、その著者が推測できるかを採点時の観点とした。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミッションポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミッションポリシーを満たすことを基準として、総合的な視点により判断しております。